

ニセコ山系縦走山行（1泊2日野営場テント泊）

ニセコアンヌプリ(1,307.9m)、イワオヌプリ(1,116m)、ニトヌプリ(1,080m)、チセヌプリ(1,134m)

日時 2019年8月12日(日)～13日(月)

天気 曇り・晴れ・霧雨

参加者 CL門馬、SL太田、宇田、宇佐美、上杉(12日当日参加)

連日の雨模様で黒岳をあきらめ、ニセコ方面が晴れ予報だったので野営場にてテント泊
日帰り山行と翌日に三座縦走に変更した。

8月12日(日)	8月13日(月)
8:15 苫小牧西インター	6:00 起床
10:00 ニセコ野営場・仮設	7:00 食事
10:28 アンヌプリ登山口	8:00 テント場撤収
12:00 アンヌプリ頂上	8:00 イワオヌプリ登山口
12:30 南峰1297	9:17 イワオヌプリ頂上
13:00 下山	10:27 ニトヌプリ頂上
14:07 登山口到着	11:08 パノラマスカイライン・チセヌプリ登山口
14:30 テント設営	12:17 チセヌプリ頂上
15:30 綺羅の湯	13:23 チセヌプリ登山口
18:00 夕食	14:00 雪秩父 ～帰路
21:01 消灯	

ニセコ野営場に到着し、テント場を確保。夏休み最終週なのか、家族キャンパー多し。
お一人様キャンパーもちらほら。おしゃれテントがたくさん並ぶ。

初日のニセコアンヌプリへ。ガスがかかっていて足取りが重い。
連日の雨模様で足元がぬかるんでいる。蒸し暑く、汗が噴き出る。ほかの登山者とも、抜きつ抜かれつ。
上へ行くほど雲が取れてきて、見晴しよくなってくる。
頂上に着き、ふと遠くに目をやると向こうの山頂に人がいるではないか。道があるらしい。
ちょっと行ってみようかとU氏偵察に行くといって、小走りで向かう。いけそうなので、4人はあとから続く。
枝をかき分け、根につまづかないように気をつける。
標識があった。南峰1297（後で聞くと、前からあったとのこと。気づかなかった。）
誰も来ないので、5人占めでお昼にする。蜂がいるが過ごしやすい。
U氏いわく、避難小屋の周りはチョット・・・(冬に皆さんがキジ撃ち、お花摘みするので・・・)
雲が濃く、雲海になっていた。明日登るイワオ、ニト、チセを確認する。

下山後汗だくになったので、お風呂で汗を流す。ドリンクを買い出しして、夕食づくりへ。
O女史渾身の夕食は角煮、じゃがりこポテサラ、マカロニサラダ、豚汁、枝豆などバラエティーにとんだ
メニューでした。美味しくいただきました。
食後、山スキー談義をし、酔いも回ったところで、就寝。

二日目は、三座縦走往復は無理と判断し、イワオ、ニトを縦走し、U氏とパノラマスカイラインで落ち合い
時間に余裕があれば、チセを登るということにした。
登りはじめは晴れていたが、イワオ山頂付近に来るとガスが立ち込め視界不良。
遠くで鈴の音が聞こえるが、人見えず。
ニトへ行く途中の道が崩れて細くなっている。遠目で見ると、切れ落ちているように見えた非常に危険。
ガレ場に滑りやすく、慎重に歩く。U氏とニト山頂手前で落ち合う。
ニト山頂、またもやガスがかかっている。ガスに取りつかれているのか・・・
4人で下山。パノラマスカイラインへ出る。振り返ると、雲が取れて、イワオ、ニトくっきりとお目見え。
チセを見上げると、雲取れて好条件。岩をガシガシ登る。ちょっとハイペース。
頂上へ着くとまたガスって眺望いまいち。沼のほうから来たという4人組パーティと会う。ツアーのようだった。
軽く食べて、下山。滑らないように注意。登山口に着くとまたもや山頂から雲が取れてクッキリ見える。
ニセコ山系縦走完了。雪秩父で疲れをいやす。 帰路へ。

初めての山行リーダー、しかもテント泊という高いハードルでしたが、参加していただいたみんなのおかげで無事に終わることができた。楽しい山行になりました。感謝しきりです。

初日 ニセコアンヌプリ～野営場



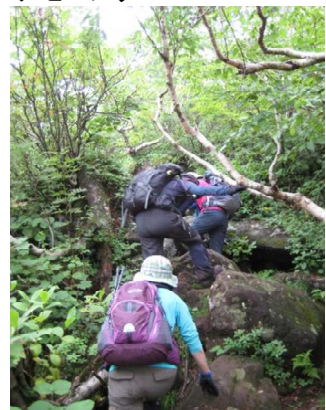
イワオヌプリ頂上



チセヌプリ頂上



チセヌプリ



ニトヌプリ頂上



チセヌプリ



写真: 宇佐美
記: もんま